投資ゲーム運営説明会

説明会の内容だけで当日に動けるよう、全体の 流れ・ルール・役割を共有します。



高校生に"投資や経済"を体感してもらう

ファイナンスの基本「リスクと分散」を学ぶ体 験型企画

投資=ギャンブルではなく、理論と判断に基づく行動 です。

このゲームを通じて「分散投資の有利さ」を体験して もらい、

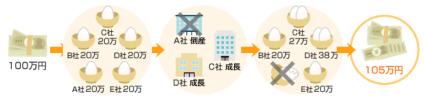
経済・金融の面白さや、学科で学ぶ内容のイメージを つかんでもらうことが目的です。

たとえば、企業の株価を考えた場合、

投資先を1社にすると… 失敗した時に大きな損失を被ることになりかねません。



分散して投資すれば… リスクの軽減を期待できます



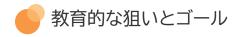


プレイヤーは投資家として意思決定を行う

流れ

5つの銘柄に自由に資金を分配し、資産変動を体験

- 1. 各プレイヤーには初期資金が与えられ、いくつかの銘柄に自由 に配分して投資します。(例:トヨタ、三菱UFJ銀行、米株)
- 2. ラウンドごとに経済イベントカードでリターンが変動し、全5ラウンドの最終資産で勝敗を決めます。
- 3. ゲームの設計上、分散投資のほうが勝ちやすい構造になっています。



楽しみながら学びを届ける

なぜ勝てたか?」を考える



ゲーム終了後に「なぜこの結果になったのか?」を振り返る時間を設けます。

スタッフからの解説



分散が有利だったことを実感してもらい、理論が現 実に活きることを伝えます。

最後に「これが経済学・ファイナンスの入り口」と伝えることで、学科の紹介にもつなげます。



シンプルな設計で誰でも理解できる内容





各ブースに2名ずつ、計10名体制で運営



ゲームマスターと参加者サポートで役割分担

ゲームマスター(GM):進行・イベント操作・資産記

録

サポート:接続確認・タブレット操作補助・遅刻対応

全体で10名+補助スタッフ2~3名を想定しています



全体説明→ゲーム→フィードバックの3段構え

各ブースごとの進行と全体連携の両立

O1 受付・グループ振り分け(1~ 5) 03 ゲーム開始(各ブース独立進 行)

02 接続確認後、全体でルール説明

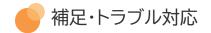
○4 終了後に全体フィードバック+ 資産集計・ランキング発表



ゲームの進行を体験し、流れを確認



1ラウンド分を体験して、役割を明確に スタッフ内で1ラウンドを再現 GM役とサポート役に分かれて実演 入力・イベント発表・資産計算までの流れを確認し、不安点を解消



落ち着いて対応できるよう、事前に想定



遅刻者・接続トラブル・時間調整など

遅刻者は代理プレイで対応、本人到着後に交代接続不良時はリロード・貸出タブレットで対応 ラウンド間の時間調整はブース内で柔軟に対応



楽しく学べる体験を一緒につくろう



安心して、でも主体的に取り組もう

このゲームは、大学での学びの入り口を体験してもらう絶好のチャンスです。

楽しさと気づきを両立できるよう、ぜひチームで連携して取り組みましょう。

ご協力よろしくお願いします!